

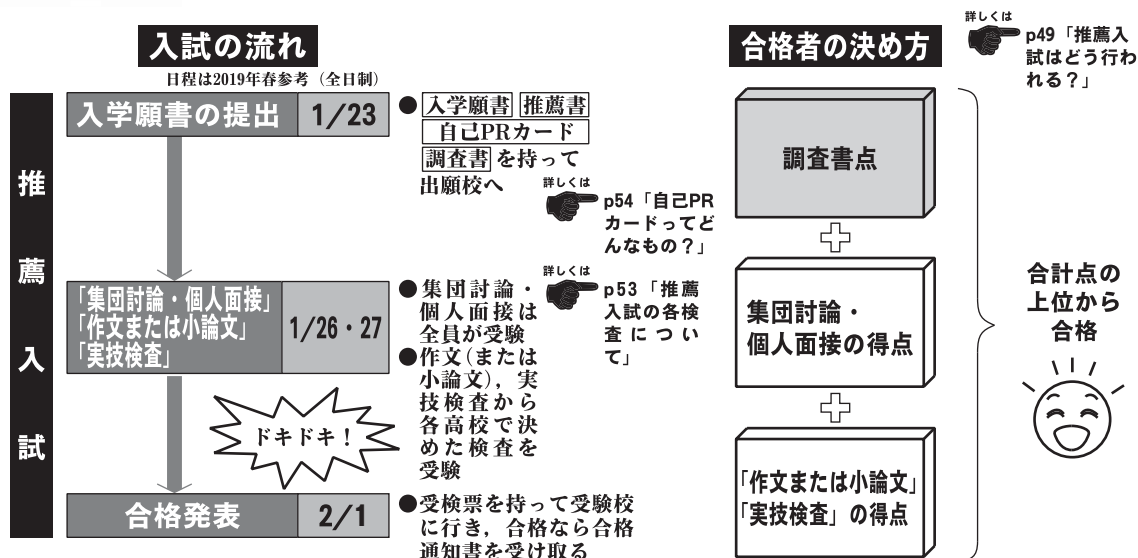
東京都立高校の入試システム

[2019年春]

基本の『き』

1 推薦入試の流れと合格者の決め方

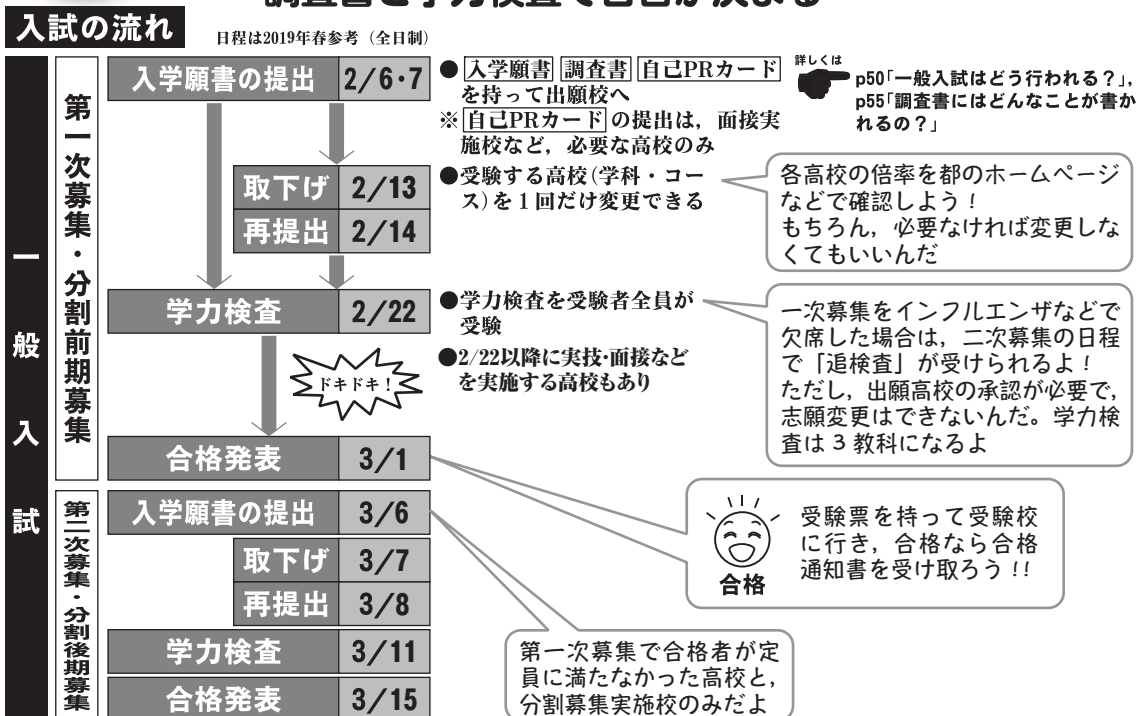
調査書による選考のほか各検査を1日または2日かけて行う



基本の『き』

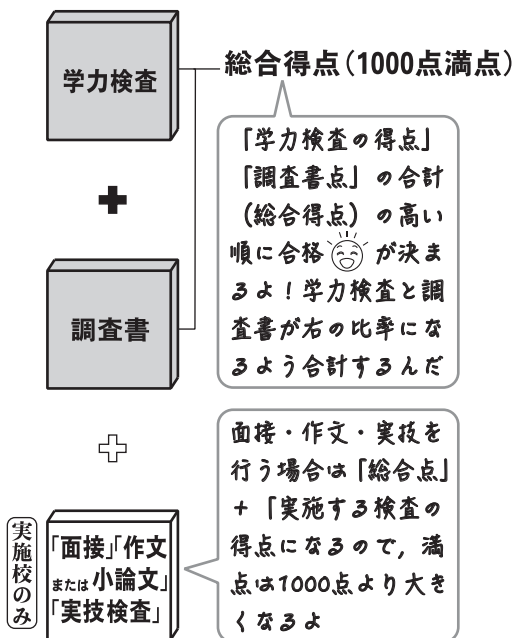
2 一般入試の流れと合格者の決め方

調査書と学力検査で合否が決まる

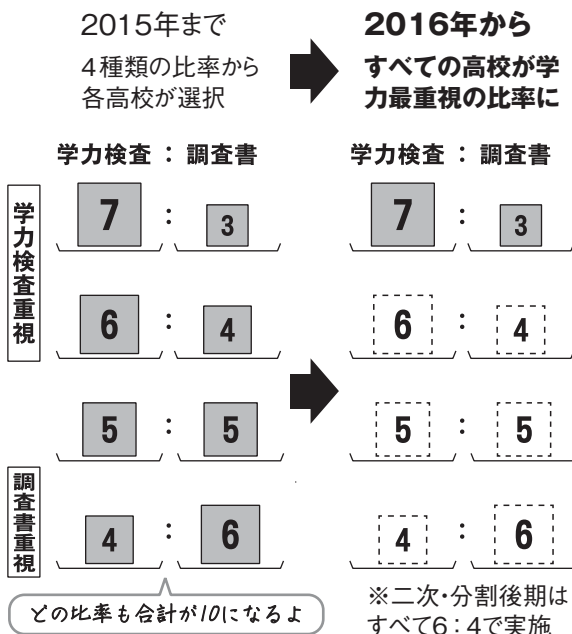


合格者の決め方

入試での得点力(学力検査の得点)と中学校の成績(調査書点)のどちらが大切なだろう？



2016年春変更点 選抜資料の比率



押さえておきたい
基礎知識

1 推薦入試はどう行われる？

思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力を評価し、選考を行う

一般推薦

募集枠 普通科・商業科→定員の20%まで その他の学科→定員の30%まで

選抜方法

調査書…基礎的な学力

集団討論・個人面接…思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力など
作文・小論文…文章表現力・論理的思考力などを問う

★p53に各検査の詳細を記載しています。

<選考例> 戸山高校の場合 (2019年春)



選抜では、「調査書」と、「集団討論・個人面接」の結果、「作文または小論文」「実技」のうち実施した検査の結果を各高校が独自に点数化します。

調査書点は、ほとんどの学校で各教科の内申(5～1)から次ページのようにして算出した数値を用

います(一部の高校では「観点別学習状況の評価」を使用 →p55参照)。合計点のうち調査書点が占める割合の上限は50%です。「自己PRカード(→p54参照)」は、面接を行う際の資料などに用いられます。

内申(評定)を調査書点に換算する計算方法

〔Sさんの内申〕	教科 評定	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語(英語)
		4	4	5	5	4	5	3	4	4

Sさんが戸山高校(調査書の満点 400点)を受験した場合の調査書点は

内申の合計 $4 + 4 + 5 + 5 + 4 + 5 + 3 + 4 + 4 = 38$

内申の合計を調査書点に換算

$$38 \times \frac{400}{45} = 337.7\cdots = 337 \text{点} \quad \text{Sさんの調査書点}$$

9教科の内申の満点 小数点以下は切り捨て

文化・スポーツ等 特別推薦

2019年春実施校：上野(バレー)・清瀬(野球/少林寺/ソフトテニス/バレー)・狛江(野球/サッカー)・城東(野球/サッカー/なぎなた/バスケット/バレー/陸上)・豊多摩(剣道/野球/ラグビー)・東大和南(野球/サッカー/水泳/バスケット/陸上)・富士(剣道)・文京(野球/バスケット/バレー/陸上)など。

志願者は、特別推薦の実施校が指定した種目(剣道・野球・サッカー・バスケット・バレー・陸上・吹奏楽など)の中から選んで出願します。あわせて同じ学校の一般推薦にも出願できます。出願にあたっては一般推薦同様の書類に加え、学校長の推薦書

や活動の実績などを証明する書類が必要です。そのうえで、調査書や集団討論・個人面接の結果、高校が選んで実施する作文・小論文・実技を資料として総合的に選考されます。

押さえて
おきたい
基礎知識

2 一般入試はどう行われる？

学力検査と調査書で、中学における学習の成果を評価します

選抜方法

入試当日の得点(学力検査の得点)と中学校での学習評価(調査書点)をあわせた1000点満点で選抜されます。2016年からは、どの高校でも学力検査を700点満点、調査書を300点満点に換算して合計するように変更。調査書点を算出する際は音楽・美術・保健体育・技術家庭を2倍するように変わりました。また、学力検査には5教科ともマークシート方式が導入されています。

比率	学力検査	調査書	合計点の高い順に合格者が決まる
7:3	700	300	

(一部の高校は「面接」「作文か小論文」「実技検査」の得点を加える)

2016年春変更点 学力検査の得点

2015年まで
5教科実施校：500点満点
3教科実施校：300点満点

2016年から
すべての高校で
5教科500点満点

※二次・分割後期は3教科300点満点

2016年春変更点 調査書の得点

2015年まで

学力検査5教科校：51点満点(音・美・体・技を1.3倍)
[学力検査3教科校：51点満点(社・理・音・美・体・技を1.2倍)]

受 験 教 科	受 験 外 教 科	合 計
国語 数学 英語 社会 理科	音楽 美術 保健体育 技術家庭	
5 5 5 5 5	5 5 5 5	
5教科の合計 $5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 25$ $25 \times 1 = 25$	4教科の合計 $5 + 5 + 5 + 5 = 20$ $20 \times 1.3 = 26$ (小数点以下は切り捨て)	
25	26	51

2016年から

すべての高校で65点満点(音・美・体・技を2倍)

受 験 教 科	受 験 外 教 科	合 計
国語 数学 英語 社会 理科	音楽 美術 保健体育 技術家庭	
5 5 5 5 5	5 5 5 5	
5教科の合計 $5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 25$ $25 \times 1 = 25$	4教科の合計 $5 + 5 + 5 + 5 = 20$ $20 \times 2 = 40$ (小数点以下は切り捨て)	
25	40	65

1000点満点にするには？ 〈例〉 傾斜配点, その他の検査を行わない高校の場合

第 1 次 募 集 ・ 分 割 前 期 募 集										
分割募集	男女 枠緩和	学力検査	調 査 書		学力 調 査 査 書	満 点				
			教科の評定の扱い			学力 調 査 査 書 点	面 接	小論文・作文	実技検査	
		教 科	学力検査 を実施する教科	学力検査 を実施しない教科						
－	－	国数英社理	1 倍	2 倍	7：3	700	300	－	－	－

$$\text{学力検査の得点} \times \frac{700}{500} + \text{換算内申} \times \frac{300}{65} = \text{受験者の総合得点 (1000点満点)}$$

(700点満点) (300点満点)

※「面接」「作文または小論文」「実技検査」を実施する高校では、1000点満点に検査の得点を加えます。

押さえて
おきたい
基礎知識

3 「学力検査」と「調査書」の重みが違うと何が変わる？

「学力検査：調査書＝7：3」の選抜では、内申低めでも得点力でばん回できる！

Aさん まじめで内申は良いが試験では緊張するタイプ
学力検査の得点275点 内申9教科37(国4 数3 英4 社4 理4 音4 美5 保体4 技家5)

Bさん 内申はさほど良くないが模試ではいつも成績が良かった
学力検査の得点322点 内申9教科29(国3 数4 英3 社3 理3 音3 美3 保体4 技家3)

「7：3」の選抜で合格ライン640点の場合

Aさん

学力検査点 学力検査の得点を換算する… $275 \times \frac{700}{500} = 385$
調査書点 内申を換算する… $(4 + 3 + 4 + 4 + 4) \times 1 + (4 + 5 + 4 + 5) \times 2 = 55$
国 数 英 社 理 音 美 体 技家
換算内申55をさらに計算すると $55 \times \frac{300}{65} = 253.8 \dots \Rightarrow 253$
638点 → 不合格

Bさん

学力検査点 学力検査の得点を換算する… $322 \times \frac{700}{500} = 450.8 \dots \Rightarrow 450$
調査書点 内申を換算する… $(3 + 4 + 3 + 3 + 3) \times 1 + (3 + 3 + 4 + 3) \times 2 = 42$
換算内申42をさらに計算すると $42 \times \frac{300}{65} = 193.8 \dots \Rightarrow 193$
643点 → 合格

入試を
もっと
深く知ろう

1 内申点 1 点の重み

換算内申(65点満点の場合)の「1点」に対し、学力検査得点(500点満点)は下のように対応します。

学力検査：調査書

換算内申

学力検査得点

7 : 3 の場合 ……	1 点	→	3.3 点
6 : 4 の場合 ……	1 点	→	5.1 点
5 : 5 の場合 ……	1 点	→	7.7 点
4 : 6 の場合 ……	1 点	→	11.5 点



換算内申の「1点」を埋めるために必要な学力検査の得点は、「学力検査：調査書」が「4：6」の場合は11.5点ですが、2016年より全校で採用となった「7：3」の場合は3.3となり、ばん回しやすくなります。

2 一般入試の選抜方法

グループ作成問題と自校作成問題

グループ・自校作成問題 →15校を3グループに分けて共同作成。
うち2グループ10校で2018年から自校作成問題が復活。

生徒の能力や適性、学習の到達度をより正確に評価することを目的に、2013年度入試までは右の15校において国・数・英の問題を自校で作成していました。2014年からは各校個別の問題ではなく、15校を3つのグループに分けて、グループ内で作成した問題を出題。このうち進学指導重点校・進学重視型単位制高校の2グループは、2018年から従来の自校作成問題に戻り、各校個別の出題となっています。

・進学指導重点校グループ（2019年春）

2018年春よりグループ作成から自校作成に変更されました。

英語は大問1が都立共通のリスニングで、重点校7校ともに大問2は「対話文」、大問3は「物語文（国立・立川）」「エッセイ（八王子東）」「説明文（4校）」を出題。さらに大問4として、日比谷は「英作文」、西では「物語文」を追加する構成でした。7校の多くで40～50語程度の記述問題を含んでいます。都立共通問題の長文は総語数1800語程度でしたが、重点校グループでは2100～3100語程度の長文が出題されています。

数学は7校とも大問4題構成でした。大問1が「小問集」、大問2が「2次関数」で、大問3は「円（5校）」「平面図形（国立・立川）」を出題。大問4では西を

グループ	校数	学校名
進学指導重点校	7校	日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立
進学重視型単位制高校	3校	新宿、国分寺、墨田川
併設型中高一貫教育校	5校	白鷗、両国、富士、大泉、武蔵

除く6校が「空間図形」としています。

国語は漢字8～10問と大問3題の構成。各校で作文を含んでおり、八王子東は240字、日比谷は250字で、ほか5校は200字となっています。

・進学重視型単位制高校グループ（2019年春）

こちらも2018年春よりグループ作成から自校作成に変更されました。

英語・数学は3校とも大問4題構成です。新宿の英語では40語程度の英作文が出題されています。

国語は漢字8問と大問3題の構成。新宿・国分寺では200字の作文が含まれています。

・併設型中高一貫教育校グループ（2019年春）

問題作成委員が共通の問題を作成。各校とも同じ問題を出題しました。

3グループとも、英語のリスニングと理科・社会は都立高校の共通問題を使用。国際は3教科入試のうち英語のみ自校作成（100点満点・50分）で出題しました。

男女枠緩和 →定員が男女別の場合でも、10%だけ男女合同の順位で合格者を決める。

都立高校（コース・単位制・専門学科は除く）では男女別の定員に基づいて合格者を決めています。男女枠を緩和している高校では、募集人員の90%は

男女別の順位で合格者を決め、残りの10%は男女合同の順位で合格者が決められます。

傾斜配点 →たとえば「英語×2倍」など特定教科の得点を大きくする配点

コース制、単位制、専門学科などでは、英語の得点を2倍にするなど、特定の教科の満点の点数を変更できる「傾斜配点」を行うことができます。

傾斜配点を行う場合、下のように教科数や配点の変え方で満点が違ってきます。こうした傾斜配点実施校では自分の得意教科を生かすことができます。

【例】松が谷（外国語）		2019年春	
傾斜配点	100点×2 + 100点 + 100点×2 + 100点 + 100点 = 700点	(国語)	(数学) (英語) (社会) (理科)

学力検査時間割 (2019年春参考)

集合	国語	数学	英語	昼食	社会	理科
8:30	9:00～9:50	10:10～11:00	11:20～12:10		13:10～14:00	14:20～15:10

入試をもっと深く知ろう

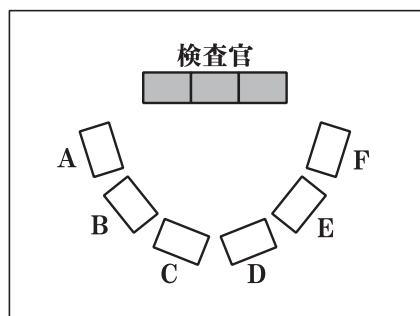
3 推薦入試の各検査について

推薦入試は多くの高校が2日間の日程で行います（一部の高校は1日ですべて行う）。選抜資料は調査書のほか、集団討論および個人面接は受験者全員、小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査で、そのうち1つ以上の検査を実施します。検査の日程や順番は各校ごとに異なります。

集団討論

→定められたテーマについて6人前後のグループで30分程度の討論を行います（男女別のグループにする高校が大半）。検査官は3人の場合が多く、1人が進行役、2人が採点を行うようです。

▼会場の配置例



▼集団討論の概要

- ・円形や半円形に机が並べられ、A・B・C・D・E・Fと書かれた札があり、討論中は「Aさん」「Bさん」と呼び合います。
- ・検査官からテーマが発表されます。注意書きやテーマ内容の書かれた用紙が配布される高校が多く、自由にメモができます。
- ・まず、テーマについて考えをまとめる時間が数分間与えられます。その後、指名または挙手順に、自分の考えを1分程度で発表します。
- ・全員が発表した後、討論の開始です。検査官が司会をする場合、グループのうち1人が司会役になる場合、司会進行役を立てない場合など、高校やグループによりさまざまです。
- ・最後に1人ずつ結論を発表したり、グループとしての結論を代表者1人が発表したりして討論を終えます。
- ・最初に配られたメモ用紙は回収される高校とされない高校があります。回収されても採点には影響しません。

▼テーマ例

- ・人工知能の活用とルールについて討論する。
- ・国際社会に貢献できる人材になるために、何を学び、身につけていくべきか。
- ・時間を守ること、服装を整えること、挨拶をすることの大切さについて。
- ・インターネットやSNSを利用する際の注意点。

個人面接

→志望理由や高校に入ったらやりたいこと、将来の希望など一般的な質問のほか、集団討論で言い残したことを聞かれたケースもあるようです。

自己PRやパーソナルプレゼンテーションなど、定められた時間内に個人の能力のアピールを行う高校もあります。

集団討論と同じ会場で、同じ検査官が面接を行います。集団討論と総合して採点するため、集団討論で失敗したとしてもばん回できるチャンスがあります。あきらめずに取り組みましょう。

集団討論と個人面接の得点分布が各高校のホームページで公表されています。

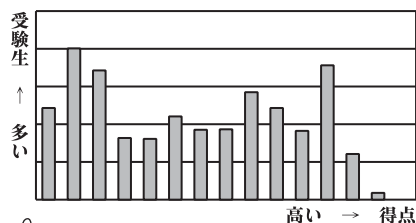
受験者の得点は正規分布に近い学校が多いです。

小論文・作文

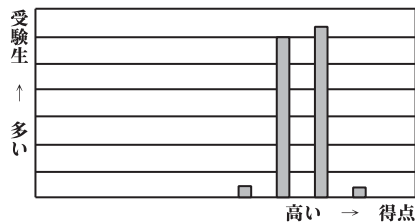
→集団討論や個人面接ではコミュニケーション能力やリーダーシップ、協調性などを評価します。それに対して小論文・作文では文章による表現力や論理性が問われます。

採点基準は高校により異なります。得点分布が各高校のホームページで公表されていますが、広く分散している分布や、近い得点に集中している分布などさまざまです。

小論文・作文の得点分布



差がつきやすい！
さまざまな得点に分布しているパターン



差がつきにくい！
評価される生徒が多く、高い点数に多くの生徒が集まるような、採点にあまり差をつけないパターン
逆に、低い点数に多くの生徒が集まる場合もある



左のような得点分布の場合、内申点に対する逆転が起こりやすくなります。

1 自己PRカードってどんなもの？

受験生が記入して高校へ提出。面接の資料として使われる

ワンポイントアドバイス

1 志望理由について

まず、各高校のホームページなどで学校のことをよく調べておきましょう。校風や学校独自の行事・部活動などを例にあげて、各校で公表している「本校の期待する生徒の姿」を参考にしながら、自分が「なぜこの高校に入りたいのか」と関連づけて書いていけばよいでしょう。

2 中学校生活の中で得たことについて

学習に関すること、行事・部活動など材料はいろいろありますが、全部書こうとすると的が絞られすぎます。そこで、「小学校時代と比べて何が変わったか(どのように成長したか)」を中心に、具体的なことがらについて、考え方がどのように変わり、そこから何を学んだかを書いていきましょう。

3 高校卒業後の進路について

将来の夢をかなえるために具体的に何をしたいか、高校入学後にどんなことをしたいか、将来就きたい職業などについて書き、その理由もつけ加えましょう。

受験番号	コース・科(分野)・部	受験番号	コース・科(分野)・部
文部・科学省 文部・科学省	一般教養	〇	〇
〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇

自己PRカード

〒1600 年 〇 月 〇 日
東京都立 〇〇 高等学校長 殿
〇〇 立 〇〇 中学校
氏 名 〇〇 〇〇 〇

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考に記入しましょう。)

私は将来、国際社会で活躍したいと考えていて、2年次にドイツ・フランス・中国語から選択履修がでるという点に、とてもひかれました。進学指導に熱心なこの学校でしっかり勉強をして、語学力を身につけ、語学系の大学に進学したいです。また、学校行事や部活動にも力を入れて高校生活を充実したものにしたいと考えています。

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことなどから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

英語が得意で、総合的な学習の時間で英検準2級を取得するための勉強をしました。その成果もあり、秋に英検準2級を取得することができました。高校在学中での英検準1級取得を目指し、さらにがんばっていきたいと思います。
また、テニス部に3年間所属し、中学の後半からは、ダブルスのレギュラーを務めました。大会での実績は地区大会のベスト8止まりでしたが、高校ではさらに上を目指してがんばりたいと思います。

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来やりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

私は、将来、国際的なスポーツイベントのプロデューサーになりたいと思っています。私自身、テニスをする中で精神的に成長することができました。また、プロの人たちのプレーを見て、いくつもの感動を味わいました。国際的な仕事なので、大学へ進学し、語学を含めて幅広い国際感覚を身につけたいと考えています。

(注意) 1 志願者が黒のボールペンで記入する。

なお、コピー等複写可能なものは認めません。

2 推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志望する者は、この自己PRカードを出願時に提出する。また、面接の対象となる者、一般の学力検査における受験生の受験についての権限又は定時制成人受験者特別措置により受験する者についても、出願時に提出する。

(2019年春用)

2 絶対評価？ 相対評価？

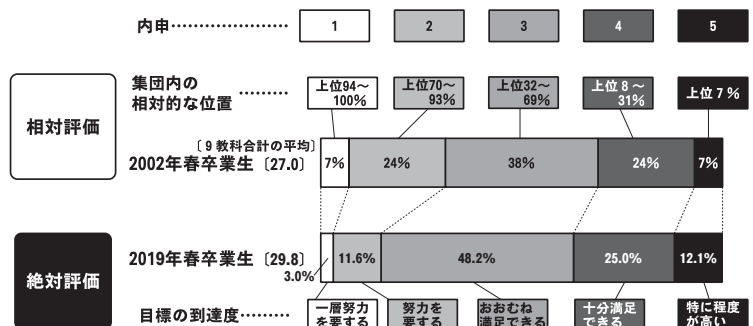
→絶対評価に変わり、5と4の割合が拡大

内申(評定)は、2002年度の中学の学習指導要領改訂に伴い、2003年春卒業生より相対評価から絶対評価に変わりました。相対評価での5段階の内申は「5」「1」各7%、「4」「2」各24%、「3」38%という配分が決まっていた。一方、絶対評価では、指導要領に示されたそれぞれの目標への到達度が5段階で評価され、配分の制限はありません。

右の絶対評価のグラフは、2019年春卒業生の第3学年2学期の9教科平均による各内申の割合を示したものです。相対評価と比べて「5」「4」の割合が大きくなり、「2」「1」が小さくなっています。つまり、絶対評価に変わって、内申が高めについているのです。

なお、2003年春に高くなって以降は2019年春まで各内申に大きな変動は見られません。

絶対評価と相対評価の分布の違い【例】



知っておく
ためになる
知識

3 調査書にはどんなことが書かれるの？

→学習成績や中学生活のようすを記録した資料

- ① 各教科の学習の記録(評価) ……第3学年の12月31日現在の各教科の観点別学習状況の評価。
A～Cの3段階で記入される。
- ② 各教科の学習の記録(内申) ……①の評価をまとめた内申(評定)。いわゆる調査書点(内申点)と呼ばれるもので、1～5の5段階で記入。
- ③ 総合的な学習の時間の内容及び評価…第3学年での総合的な時間で設定した課題と内容。学習状況と成果を評価し、文章で記入したもの。
- ④ 諸活動の記録…道徳および特別活動、学校内外のその他の活動のうちから、特筆すべき成果をあげた生徒についての活動の事実や実績。
- ⑤ 出欠の記録…第3学年の4月1日から12月31日までの出席状況。欠席の日数について、欠席理由を説明したいとき、志願する高校に「自己申告書」を提出することができる。

調 査 書										※受検番号		※受検番号																																													
(注) ①字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。 ②※印の欄には記入しない。										コース・科(分野)・期		コース・科(分野)・期																																													
成績一覧表の番号		成績一覧表の提出の有無 (該当を○で囲む。)		有・無		文化・スポーツ等 特別推薦		一般選抜 (変更前)		一般選抜 (変更後)		一般選抜 (変更後)																																													
成績一覧表の番号		○ ○ ○ ○		有・無		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○																																													
学 籍 的 記 録		フリガナ		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		性 別		○ ○ ○ ○		出 欠 の 記 録		出 席 し な け れ ば な ら ない 日 数																																													
氏 名		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		転入学等		年 月 日		○ ○ ○ ○		欠 席 日 数		○ ○ ○ ○																																													
生年月日		平成 ○ ○ 年 ○ 月 ○ 日 生		卒業・卒業見込		平成 ○ ○ 年 3 月		卒業見込		卒業		卒業見込																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>国 語</th> <th>社 会</th> <th>数 学</th> <th>理 科</th> <th>音 楽</th> <th>美 術</th> <th>保健体育</th> <th>技術・家庭</th> <th>外国語(英語)</th> <th>総合的な学習の時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観点別学習状況</td> <td>基礎・基本の理解・態度</td> <td>基礎・基本の理解・態度</td> <td>基礎・基本の理解・態度</td> <td>基礎・基本の理解・態度</td> <td>基礎・基本の理解・態度</td> <td>基礎・基本の理解・態度</td> <td>基礎・基本の理解・態度</td> <td>基礎・基本の理解・態度</td> <td>基礎・基本の理解・態度</td> <td>基礎・基本の理解・態度</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>評定</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>														教科	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保健体育	技術・家庭	外国語(英語)	総合的な学習の時間	観点別学習状況	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	評価	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	評定	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
教科	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保健体育	技術・家庭	外国語(英語)	総合的な学習の時間																																															
観点別学習状況	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度	基礎・基本の理解・態度																																															
評価	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																																															
評定	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																																															
2年次には、区の福祉政策について知るため、区役所で資料を収集し、区の福祉政策を具体例をもとにまとめた。3年次には、地域で盛んな産業を知るため、地域の企業を訪問し、インタビューをもとに、地域産業をさらに活性化させる方法をまとめた。																																																									
2年次には美化委員として教室の清掃に積極的に取り組んだ。2・3年次にはテニス部の副部長として活躍し、3年次に区の大会で個人優勝をした。																																																									

▶ 観点別学習状況の評価

(2019年春用)

推薦の観点別学習状況の評価を活用した調査書点は、このA・B・Cの評価を基にして計算します。高校ごとにA…○点、B…△点、C…□点と決まっています。その数値の合計が得点となり、調査書点の満点に換算されます。

2019年に観点別学習状況の評価を調査書点として用いた高校は、全日制普通科ではエンカレッジスクールの蒲田・足立東・東村山・秋留台の4校でした。

第2次募集・分割後期募集について

第1次募集を実施後、分割後期募集に加え、入学手続き者数が募集定員に達しなかった高校の第2次募集が行われます。分割募集は、1998年から実施されている入試方法で、あらかじめ第1次募集(分

割前期募集)と第2次募集(分割後期募集)の定員を設けておくことができるシステムです。2019年には全日制ののべ21校22学科が分割募集を実施しました。

4 都が取り組む魅力ある学校づくり

入試制度の多様化が進む一方、難関大学進学を目指す学校という位置づけで、2001年に日比谷・戸山・西・八王子東が、2003年には青山・立川・国立が**進学指導重点校**に指定され、進学指導を充実させるためにさまざまな支援を受けています。また、2007年には進学指導重点校に準じる進学指導特別推進校(国分寺・小山台・駒場・新宿・町田・国際〔2013年に追加指定〕)やその次に位置する進学指導推進校が設置されました。さらに2012年から2023年までの10年計画で、生徒一人ひとりの潜在的な能力を伸ばすために、都立高校改革推進計画が進められています。

学校改革にあわせて、新しいタイプの学校が設置

されるなど「都立高校の特色づくり」も進められてきました。2000年に墨田川が「進学重視型」単位制高校として開設され、2002年には国分寺が、2003年には新宿が同じタイプの単位制に移行しました。また、2003年に足立東と秋留台、2006年に練馬工業、2007年に蒲田、2010年に東村山、2018年には中野工業がエンカレッジスクールに改編されました。

このほか、少子化による生徒数の減少に伴って高校の統廃合も進められ、統合後は単位制高校・総合学科高校などに衣替えしています。新設校の中にはチャレンジスクールなど、昼夜間定時制高校もつくられています。

新しいタイプの学校（一部抜粋）

- 単位制高校** ㊦…専門性の高い科目や特色ある科目など、多数の選択科目が用意されています。自分だけの時間割をつくって、進路や興味にあわせて学習することができます。キャリアガイダンス（進路相談）が充実しています。学年の枠にとらわれずに幅広い選択科目が設置されているため、学年を超えた異年次間の交流もできます。
→ 飛鳥・翔陽など
- 進学重視型単位制高校** ㊦…大学進学に重点を置く単位制高校です。国公立・私立、理系・文系など、さまざまな大学・学部への進学を可能にするため、大学受験に必要な演習系の選択科目がそろっているのが特徴で、学力をつけたい科目を集中的に学べます。
→ 国分寺・新宿・墨田川
- 総合学科高校** ㊦…普通科と専門学科をあわせもつ単位制高校です。選択科目は普通科目から専門性の高い科目まで幅広くそろっていて、学習しやすいように専門分野ごとにまとめた「系列」が設けられています。自分の興味や関心、希望進路に応じて選択できます。キャリアカウンセラーが常駐し、進路や科目選択の相談に応じています。
→ 晴海総合・杉並総合など
- エンカレッジスクール** ㊦…エンカレッジは「力づける」とか「励ます」という意味です。生徒のやる気を引き出すようなわかる授業を目指し、集中力の持続を考えた30分の短時間授業（1年次のみ）や少人数・習熟度別授業を導入したり、午前中は通常授業で、午後は体験学習を盛り込んだ授業を実施するなど、時間割の構成を工夫しています。
→ 足立東・秋留台など
- チャレンジスクール** ㊦…小・中学校での学校生活になじめなかったり、これまで自分の能力や個性を十分に発揮できなかった生徒のための学校です。自分の目標にチャレンジできる学校ということで、この名前がつけられています。無学年制で3部制の単位制総合学科高校です。自分の生活スタイルや学習ペースにあわせて、各時間帯で学習します。
→ 桐ヶ丘・世田谷泉など
- 新たなタイプの昼夜間定時制高校（フレックススクール）** ㊦…総合学科のメリットを取り入れながら、学年制の良さを残した、3部制の単位制普通科高校です。フレッジとは「ひなを巣立ちまで育てる」という意味で、生徒の多様な進路実現を支援する、きめ細かい指導が特徴です。ボランティアなどの校外活動が単位として認められるマイレージ制が導入されています。
→ 浅草・荻窪など

***単位制**→㊦ 最低74単位（学校により異なる）の修得により卒業可能な制度です。

***総合学科**→㊦ 普通科と専門学科の枠を超えた選択科目を専門分野ごとにまとめた「系列」を中心に学習します。

***少人数制**→㊦ 既存の定時制や、チャレンジスクール・フレックススクールなどの昼夜間定時制は、全日制普通科が1クラス40名であるのに対し、30名の少人数クラス編成です。また、エンカレッジスクールでは、科目によっては1クラスを2分割するなどして、少人数・習熟度別授業を積極的に行っています。

***三修制**→㊦ 3部制（午前・午後・夜間各4時限の3つの時間帯のいずれかで学ぶ）をとる昼夜間定時制は4年かけて学ぶのが基本ですが、1日4時限以上受講することにより3年間での卒業も可能です。

5 学校改革と入試制度変更の歴史

都立高校では、次のような改革が進められてきました。次の表は、都立高校のおもな学校改革と入試制度改革について、近年5年間とこれまでの入試制度の改革の歴史をまとめたものです。2016年2月には都立高校改革推進計画の「新実施計画」が策定され、2019年2月には2022年までの再編校が発表されています。

～2010年までのおもな入試制度の改革		
1967年…全日制普通科で「学校群制度」を導入 1982年…全日制普通科で「学校群制度」を廃止し、「グループ合同選抜制度」を導入 1994年…全日制普通科で「グループ合同選抜制度」を廃止し、「単独選抜制度」を導入 1995年…普通科に推薦を導入 1998年…一般に特別選考・男女枠の緩和・分割募集を導入 2001年…日比谷が自校問題作成に（2001～2010年までにあわせて15校が自校問題作成校に） 2003年…学区を撤廃 2004年…「文化・スポーツ等特別推薦」を導入		
年度	おもな学校改革	入試制度のおもな変更点
2013年 (平成25年)	進学指導特別推進校（1校追加→6校に）…国際・国分寺・駒場・小山台・新宿・町田 進学指導推進校…江戸川・北園・江北・小金井北・小松川・城東・墨田川・竹早・調布北・豊多摩・日野台・三田・武蔵野北	選抜方法 ▶「文化・スポーツ等特別推薦」実施校…92校（全日制） ▶推薦で、総合成績に占める調査書点の割合の上限が50%に ▶推薦で、小論文・作文・実技から1つ以上の検査をすべての高校で実施 ▶推薦で、個人面接に加え、原則として集団討論を実施 ▶推薦の選抜枠が縮小
2014年 (平成26年)	(S S H) (～2018年) 戸山	選抜方法 ▶単位制普通科の推薦枠の上限を30→20%に縮小 ▶自校作成問題を出題してきた15校を、3つのグループに分けて共同作成
2015年 (平成27年)	(S G H) アソシエイト (～2019年) 日比谷	▶学力検査のマークシート方式を20校に導入（小山台・三田・駒場・奥多摩・北園・小松川など）
2016年 (平成28年)	推進校 医学部等を進学希望する生徒による「チーム」の結成 戸山 理数アカデミーの取組み 富士 国際バカロレアの取組み 国際	選抜方法 ▶学力検査3～5教科→5教科（全校でマークシート方式を導入） ▶「学力検査：調査書」＝「7：3」「6：4」「5：5」「4：6」→「7：3」 ▶調査書の実技4教科×1.3（または1.2）倍→×2倍 ▶特別選考（一般入試定員の10～20%を高校独自の方法で選抜）→廃止
2017年 (平成29年)	(S S H) (～2021年) 日比谷、多摩科学技術	
2018年 (平成30年)	再編 葛西工業・多摩工業…デュアルシステム科を設置 中野工業…エンカレッジスクールに改編 (S S H) (～2022年) 立川	選抜方法 ▶グループ作成問題の実施校のうち、進学指導重点校7校、進学重視型単位制高校3校が自校作成問題に移行
2019年 (平成31年 令和元年)	(S S H) (～2023年) 戸山	
2020年 (令和2年) ？ (予定)	再編 五日市…商業科を特色ある普通科に改編(2020年) 赤羽商業…家庭・福祉高校に改編(2021年) 富士・武蔵…高校外部募集停止(2021年) 荒川商業…足立地区チャレンジスクールに改編(2022年) 立川…理数科を新設(2022年) 両国・大泉…高校外部募集停止(2022年) 立川国際中等教育学校…小中高一貫教育校に改編(2022年) 立川地区チャレンジスクール…新設(2023年) 新国際高校(仮称)…港区白金に新設(年度未定) 白鷺…高校外部募集停止(年度未定)	選抜方法 ▶英語スピーキングテスト結果を活用(2020年) ※スピーキングテスト実施は2021年の中3生(プレテストは2019年の中3生から実施)

* (S S H) (S G H) …文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクール、スーパーグローバルハイスクール